

申請団体名：黒沢まちづくり委員会

令和元年度浜田市まちづくり総合交付金 課題解決特別事業 事業報告書

事業名
住み慣れた地域での暮らし支援事業【食をテーマに、動く公民館事業】

事業費（予算額）：570,000 円（まちづくり総合交付金課題解決特別事業）：500,000 円

P ・事業の目的（解決を目指す課題）や見込まれる成果

黒沢地区は、超高齢化地域です。65歳以上の一人暮らし世帯と75歳以上（後期高齢者）の夫婦世帯が占める割合は80%になります。こうした状況の中にあっても、住み慣れた地域で、健康で長生きするためには、何といても「運動と食事」です。一人暮らしの家庭を訪問し、安否確認に合わせ健康状態を含めた見守り活動が急がれる。こうした地域課題を解決するために、公民館の調理室を一般食堂として許可を受けて食事提供に向けた行動を始めたいと思います。

D ・事業の概要

公民館の調理室を一般食堂にし、お弁当などをつくり、高齢者宅にお届けすることが出来る施設にする。（有料）また、公民館行事等の際にはお食事会が出来るようにして、コミュニティのたまり場に。食事は有料とし、まちづくり委員会としてはコミュニティビジネスを展開する。収益金はまちづくり委員会の活動資金として有効活用する。

公民館の施設としての調理室を制限することになることから、支障が出ないように簡易な場所を用意し、公民館活動はこれまで以上に活発化を目指す。

C ・課題の解決度合（10段階の自己評価）

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
							○		

・上記評価の理由

- ◆ 地域住民の理解が得られた。
- ◆ 保健所の許可が下りた。（一般食堂・露店）
- ◆ 浜田市から建物の一部が借用できた。
- ◆ 食堂「ちい助」の営業をスタートした。
- ◆ 中国電力（株）の要請に応えるための食事サービスを始めた。将来の訓練を兼ねて。

A ・事業の継続、発展に向けて今後取り組むこと（評価を10に近づけるために）

- ◆ 高齢者が高齢者を見守るということが地域事情であるが、一人でも多くの調理人の確保が課題。
- ◆ 地域民のニーズを把握することが今後の作業。（アンケートや聞き取りで）
- ◆ 宅配を担当する人の確保。
- ◆ 地域内の交通対策。（免許証返納で交通弱者）

